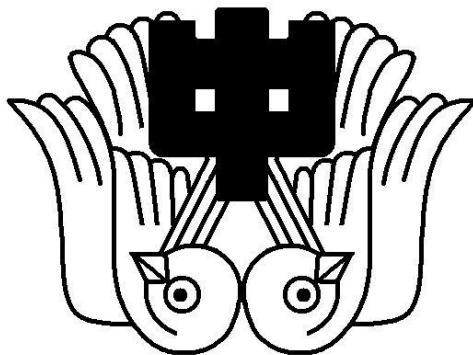


令和7年度



3学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

国語科シラバス

3学年

【国語って何?】

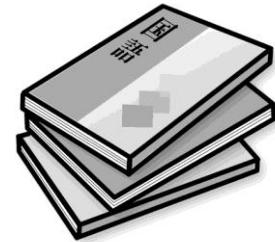
- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

【言葉の力とは?】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

【言葉の力を身に付けるには?】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。（何よりもやる気が大切です。）



【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考えを他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（教科書、漢字、文法等）、国語辞典（各自必ず用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	【1 深まる学びへ】 世界はうつくしいと 握手 評価しながら聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を正確に把握する。 ・相手に合わせて情報を再構成する。 ・わかりやすさを意識して話す。
5	学びて時にこれを習ふ 情報処理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 【2 視野を広げて】 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の出来事をわかりやすくまとめ、紙面構成を考える。下書きを読んで、話し合い、清書する。 ・読書して心に残った表現を書き記し、詞華集を作成する。 ・詩の中の言葉や表現から作者の思い、ものの見方をとらえる。 ・登場人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる。 ・文章の展開に沿って内容をとらえ、社会や情報について理解を深める。 ・作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・俳句について理解し、表現の深さを味わう。 ・読書を通して自分の内面を見つめ、自己の向上につなげる。 ・助詞と助動詞の働きや用法、助動詞の活用について理解する。 ・丁寧語・尊敬語・謙譲語の特徴を理解し、使い分けられるように。 ・形が似ていて間違えやすい漢字の読み方と意味を調べる。 ・辞書を活用して同音異義語の意味や使い方を理解する。
6	硬筆展覧会作品練習 思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法1 スイカは幾つ必要? 実用的な文章を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・俳句について理解し、表現の深さを味わう。 ・読書を通して自分の内面を見つめ、自己の向上につなげる。 ・助詞と助動詞の働きや用法、助動詞の活用について理解する。 ・丁寧語・尊敬語・謙譲語の特徴を理解し、使い分けられるように。 ・形が似ていて間違えやすい漢字の読み方と意味を調べる。 ・辞書を活用して同音異義語の意味や使い方を理解する。
7	【3 言葉とともに】 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 私の一冊を探しにいこう	
8	【4 状況の中で】 挨拶-原爆の写真によせて	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めて、パネルディスカッションを行い、根拠を明らかにしながら、筋道を立て説明できるようにする。
9	故郷 聞き上手になろう 論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	<ul style="list-style-type: none"> ・「故郷」の冒頭の文章を参考にして身の周りの風景を200~400字程度で描写する。 ・異なる立場から主張を見直し、説得力のある意見文を書く。 ・詩に表現されている主張を、現実の世界の在り方と対応させながら読む。 ・情景や人物を描写する語句や表現の着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・古文を音読し、古文の言葉の響きを味わう。 ・和歌に表れた昔の人の思いや情景を読み味わう。 ・作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・漢文特有の言い回しに注意して音読し、読み慣れる。 ・根拠や理由に着目しながら、論理の展開をとらえる。 ・日本の伝統文化に关心を持ち、意欲的に読書に取り組む。 ・比喩の効果を知り、自ら使えるようにする。 ・辞書を活用して、慣用句の意味や使い方を理解する。 ・重箱読みと湯桶読みについて理解する。 ・対義語・類義語について理解する。 ・言葉の細部に目を向け、コミュニケーションの重要性に気付く。
10	【5 自らの考えを】 それでも、言葉を 多角的に分析して書こう 漢字に親しもう4 話し合いを効果的に進める	
11	合意形成に向けて話し合おう 音読を楽しもう 初恋 【6 いにしえの心を受け継ぐ】 君待つと「万葉・古今・新古今」 夏草「おくのほそ道」から	
12	古典名句・名言集 【7 値値を生み出す】 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう 漢字3 漢字のまとめ 文法2 「ない」の違いがわからない 読書に親しむ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女	<ul style="list-style-type: none"> ・三年間で身に付けた国語の力を生かし、「私のアルバム」を編集し、発表する。 ・全体の構成と共にページごとの紙面をどう作るか考えて、アルバムを作成する。 ・自分らしさが表れるよう工夫して世界に一冊しかないアルバムを編集する。 ・言葉の世界の確かさ、豊かさを味わい、人間や社会・自然について、ものの見方・考え方・感じ方を広げ深めていく。 ・生きることのすばらしさを知り、豊かな心でたくましく生きることを学ぶ。 ・練習問題に取り組み、自分の弱点をつかんで補強していく。
1	温かいスープ わたしを束ねないで	
2	三年間の歩みを振り返ろう 漢字に親しもう6	
3	学習を振り返ろう	

【社会科って何？】

3年生の社会科では、「歴史」（2つの世界大戦以降）と「公民」を学習します。「公民」とは現在の社会を生きる日本人として、世界の中の1人として生きていくために必要なことを学習していきます。具体的にはわが国のしくみや日本人としての義務や権利など日本国憲法を通して学ぶとともに、社会情勢、政治、経済、国際社会、領域と国家主権などを学習していきます。ですから、「公民」は私たちの非常に身近な「現在（いま）」を学習し、考えていく分野なのです。

【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- *日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- *社会的事象から、問題を見いだし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえ公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- *社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA B Cの3段階で評価します。3つの観点のA B Cを基礎に5段階の評定をします。

十分満足できる おおむね満足できる 努力を要する

評定

「知識・技能」

A

B

C

5

「思考・判断・表現」

A

B

C

4

「主体的に学習に取り組む態度」

A

B

C

3

2

1

【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて	評定
知識・技能	学習ノート、レポート 発言、発表 その他提出物	日本の国土と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取ったり、気付いたことを表などにまとめることができる。	5 4 3 2 1

思考・判断 ・表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的 ・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。
主体的に学 習に取り組 む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課題を主体的に追究することができる。

【学習の予定】

	月	学習すること	学習のねらい
1 学 期	4	「二度の世界大戦と日本」	・二度の世界大戦について、原因・経過・結果について、簡単にまとめている。 ・終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解する。 ・戦後の日本の民主化と再建、国際社会の復帰について世界の動きと関連して理解する。 ・国際社会における日本の役割を理解し、よりよい未来に向けてどうすべきか考えている。 ・現代日本の特色のグローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済にどのような影響を与えているか理解する。
	5		
	6	「現代の日本と世界」	
	7	「私たちの生活と現代社会」	
2 学 期	8	「個人の尊重と日本国憲法」	・わが国の政治が憲法に基づいていることと、基本的人権について理解する。 ・自由権や社会権について深く考え、共に生きる（共生）社会の大切さを理解する。
	9		
	10	「現代の民主政治と社会」	・民主政治の基本的な姿を理解し、国民の政治参加の意義を考える。 ・わが国の民主政治のしくみを理解する。
	11	「私たちの暮らしと経済」	・都道府県や市町村の政治のしくみや地方自治についての理解を深める。 ・身近な消費生活や流通、生産などのしくみを中心に経済活動の意義を理解する。 ・市場経済や企業、金融のしくみや働きについて理解する。 ・福祉のしくみとその向上について理解する。
3 学 期	1		・領域や地球環境問題など国際社会の課題とその解決法について考え、理解する。
	2	「地球社会と私たち」	
	3	「より良い社会を目指して」	・世界平和に必要な国際協調について考え、理解する。

【使用教材】教科書・ノート・地図帳・歴史資料集・公民資料集

*年度により若干変更もあります

数学科シラバス



第3学年

＜第3学年の生徒・保護者の皆様へ＞

本年度、第3学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

【数学って何?】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を展開していきます。

【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力が身につきます。

【目標】第3学年の数学の目標は、次のようになっています

A <数と式>

- ・数の平方根について理解し、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、2次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。

B <図形>

- ・相似や三平方の定理について、理解しそれらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。

C <関数>

- ・関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を伸ばす。

D <データの活用>

- ・標本調査の意味と有用性について、無作為抽出の意味を模擬的な実験を経験することを通して理解させる。

【こんな方法で評価します。】



<評価の観点>

①知識・技能

多項式、平方根、2次方程式、関数、相似な図形、三平方の定理、標本調査、円周角の定理などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けています。

②思考・判断・表現

既に学習したことと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

③主体的に学習に取り組む態度

さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとして、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

<評価の方法>

毎時間の授業への取組、定期試験の結果、授業のノートや提出物の内容を基にして、3つの観点のそれぞれを「十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…C」の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

<使用教材>

- ・教科書
- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。
- ・ワーク…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。

<学習の進め方>

予習

教科書を基に、授業のポイントや流れを事前に確認しておく。見通しをもって授業に臨む。

授業

- ① 授業の準備をしっかりとする。
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。
(課題に真剣に取り組む。説明や発表をよく聞く。積極的に挙手や発言をする。わからないところは質問する。)
- ③ 創意工夫してノートにまとめる
(要点、例題、問題、質問など整理する。)

復習

その日に習ったことは、その日のうちに再度確認する。理解が不十分なところは補充学習をする。

【内 容】

学期	月	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	4月	オリエンテーション 1章 文字を使って説明しよう [多項式] ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用 ・基本の問題 ・章の問題	・数学の授業の目標、内容、評価などを知る。 ・単項式と多項式の乗法、除法について理解し、計算ができる。 ・多項式や根号を含む式を分配法則、乗法公式を用いて計算ができる。 ・因数分解の意味を理解する。 ・共通因数をくくりだして、式を因数分解することができる。 ・乗法公式や因数分解の公式を数の計算に利用することができる。 ・展開や因数分解を式による証明に利用することができる。
	5月		
	6月	2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] ・平方根 ・根号を含む式の計算 ・平方根の利用 ・基本の問題 ・章の問題	・因数、素数、素因数分解の意味を理解し、利用できる。 ・平方根の定義を理解し、基本的な性質が理解できる。 ・平方根の大小関係が理解できる。 ・無理数、有理数の意味が理解できる。 ・根号を含む式の乗法、除法を理解し、計算ができる。 ・根号を含む式の加法、減法を理解し、計算ができる。 ・根号を含む式を分配法則を使って計算できる。
	7月	3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式] ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の利用 ・基本の問題 ・章の問題	・二次方程式の解、解くことの意味が理解できる。 ・因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。 ・問題解決のために二次方程式を用いることができる。
	8月 9月	4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y = ax^2$] ・関数 $y = ax^2$ ・関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 ・いろいろな関数の利用 ・基本の問題 ・章の問題	・事象の中から、 $y = ax^2$ の関係にある数量を見いだし、式で表すことができる。 ・ $y = ax^2$ のグラフとその特徴が理解できる。 ・変化の割合の意味がわかり、それが求められる。 ・放物線を利用して、問題を解くことができる。 ・直線と放物線に関するいろいろな問題を解くことができる。
	10月	5章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形] ・相似な図形 ・平行線と比 ・相似な図形の面積と体積 ・基本の問題 ・章の問題	・図形の拡大、縮小などの作図ができる。 ・相似の位置、中心の意味がわかる。 ・相似な図形の性質、相似比がわかる。 ・比の性質が理解でき、それが使える。 ・三角形の3つの相似条件が理解でき、それを用いることができる。 ・三角形と比の性質とその逆がわかる。 ・中点連結定理が理解でき、それを用いることができる。 ・平行線と比の性質がわかり、それが使える。 ・三角形の相似を利用して、縮図がかけ、距離や高さが求められる。 ・基本的な長さの問題がわかる。 ・発展的な長さの問題や証明問題に習熟する。
	11月	6章 円の性質を見つけて証明しよう [円] ・円周角の定理 ・円周角の定理の利用	・円周角の定理を理解し、円に関するいろいろな問題を解くことができる。
2 学 期	12月	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理] ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 ・基本の問題 ・章の問題	・三平方の定理が理解でき、問題を解くことができる。 ・三平方の定理の逆が理解でき、問題を解くことができる。 ・三平方の定理を平面図形や空間図形に応用できる。
	1月	8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査] ・標本調査 ・標本調査の利用	・標本調査の方法を知り、集団がもつ傾向を調べることができる。
	2月 3月	3年間のまとめ問題 ・総復習問題を解く。	・総復習問題をやることで再度理解を深める。
3 学 期			

【使用教材等】

ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。

コンパス・三角定規をいつでも使用できるように準備をしてください。

理科シラバス

3学年

【理科って何?】

私たちの身近な自然や現象をじっと観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことが起こるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。

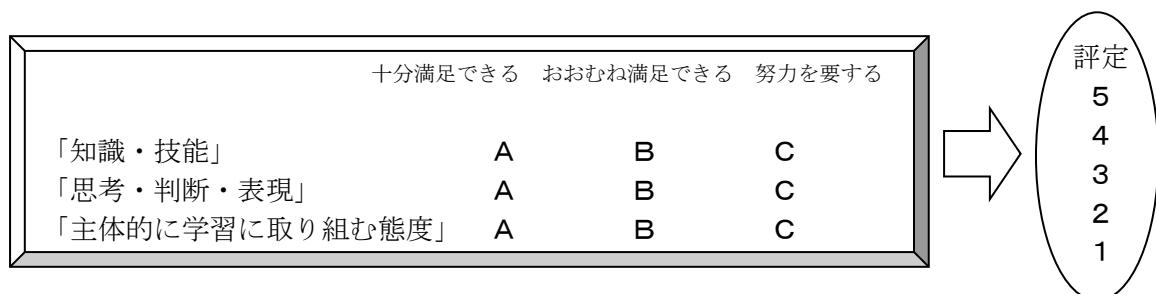


【こんな力がつきます。】

- 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）

【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA B Cの3段階で評価します。そして、3つの観点のA B Cを基礎に5段階の評定をします。



それぞれの観点は次のような方法で評価します。

観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身に付けている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができる。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができる。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。 計算の問題を解くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物	進んで事物・現象に関わることができる。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができる。 提出物の内容を評価する。

【学習の予定】

第1分野



月	単元	学習内容
4 5 6 7	単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	水溶液と電流 電解質水溶液に電流を流したときの変化 原子の成り立ちとイオン
	2章 酸・アルカリとイオン	酸性やアルカリ性の水溶液の性質 酸とアルカリの反応
	3章 電池とイオン	金属とイオン 化学変化と電池 さまざまな電池
9 10 11 12	単元4 運動とエネルギー 1章 力の規則性	水がおす力 みんなの力を合わせると 斜面上の物体と重力
	2章 力と運動	運動について調べるには 力がはたらき続けるときの運動 運動を続ける物体 おしておされて・おされておして
	3章 仕事とエネルギー	楽に仕事をするには
	4章 エネルギーの移り変わり	高さと速さがもたらすもの 移り変わるエネルギー
1 2 3	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち	生活に欠かせない電気 エネルギー資源の開発と有効な利用
	5章 科学技術の発展と私たち	さまざまな物質とその利用
	終章 科学技術の利用と自然環境の保全	限りある資源と有効な利用 発展を続ける科学技術

第2分野

月	単元	学習内容
4 5 6	単元2 生命の連続性 1章 生物の成長	生物の成長と細胞
	2章 生物の殖え方	受精によらない生殖 受精による生殖 特徴の伝わり方 ～生殖と遺伝～
	3章 遺伝の規則性	遺伝の規則性 DNAとは? 遺伝子の本体
	4章 生物の種類の多様性と進化	脊椎動物のなかまの変遷 進化の証拠 生物の多様性と進化
7 9 10	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来	生物と環境との関わり 生物どうしのつながり 生態系における物質の循環
	2章 自然環境と私たち	身近な自然環境の調査 自然環境の保全
	3章 自然災害と私たち	調べよう身近な自然災害 私たちにできることは何か?
11 12 1 2・3	単元3 地球と宇宙 1章 天体の1日の動き	太陽や星の動きに規則性はあるか 天体はなぜ回転する?
	2章 天体の1年の動き	星や太陽の1年の動き 四季があるのはなぜか?
	3章 月や惑星の動きと見え方	月の位置と見え方 太陽-地球-月の特殊な位置関係 惑星とは「惑う星」
	4章 太陽系と恒星	太陽 太陽系の天体 太陽系の外側の世界
	5章 科学技術の発展と私たち	さまざまな物質とその利用 限りある資源と有効な利用 発展を続ける科学技術



音楽科シラバス

3 学年

【(音楽)って何?】

- 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、齊唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の3つの観点(通知票に記載)を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとにして5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定	
				5	4
知識・技能	A	B	C	3	2
思考・判断・表現	A	B	C	1	
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C		

評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">曲の構造や歌詞の内容について理解している。曲や歌詞に応じた発声について理解している。発音や姿勢など、歌うために必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">知識や技能を生かして、表現を工夫している。音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。	<ul style="list-style-type: none">音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。

【学習の予定】

月	題材名・教材名	学習内容
4	歌唱 「花」 器楽: アルトリコーダー 「悲愴」	・歌詞の朗読を行い、歌詞の内容を味わう。 ・4分の2拍子を感じながら歌う。 ・曲想を味わいながら、二部合唱をする。 ・旋律の流れの特徴を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。
5	鑑賞 能「敦盛」	・謡にふさわしい発声を理解し、その特徴を生かしながら歌う。 ・中世以降、武家社会を中心に愛好された「能」を鑑賞して、その魅力を味わう。
6	歌唱 「風の中の青春」 「帰れソレントへ」	・パートの役割や、旋律の音の動きを考えながら表現を工夫して歌う。 ・曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。
7	創作 Let's Create! 器楽 「風にのって」	・音の重なり方や構成の特徴を理解し、まとまりのあるリズムアンサンブルを工夫する。 ・曲の構造や背景を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。
8	歌唱	・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。
9	学年合唱曲	・パートごとに旋律を確認し、曲の特徴をとらえ、盛り上がりを考えて歌う。
10	クラス合唱曲	・楽曲を味わい、パートの役割やバランスを考え、美しいハーモニーで歌う。 ・ハーモニーや発音やバランスに気をつけながら表現豊かに合唱する。 ・ステージマナーや鑑賞する態度を養う。
11	器楽: アルトリコーダー 「愛の挨拶」 鑑賞 交響詩「ブルタバ」	・旋律の流れの特徴を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。 ・オーケストラの響きにも多彩な種類があることを知る。 ・作曲者の生きた時代背景や人柄を知り、楽曲の理解を深める。 ・情景を想像しながら、鑑賞する。
12	歌唱 「花の街」 鑑賞 「世界の諸民族の音楽」	・曲の背景を理解し、情景を思い浮かべながら曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ・我が国及び諸外国の様々な音楽の特徴を理解し、その良さや美しさを味わって聴く。
1	歌唱 「早春賦」	・情景を思い浮かべながら曲に合った表現を工夫して歌う。
2	歌唱 卒業にむけての合唱	・今までの学習の集大成として心を込めて歌う。 ・楽曲の流れやバランス、発音や表現に注意しながら歌う。

3	歌唱 卒業にむけての合唱 国歌「君が代」 「上尾中学校校歌」 3年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none">今までの学習の集大成として心を込めて歌う。3年間をまとめ、これから的人生と音楽について語り合う。
---	--	---

美術科シラバス

3 学年

【美術って何?】

絵を描いたり、デザインをしたり、立体的な作品をつくったり、自分で使うことができるものを制作したりします。作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

【美術は3つの観点を総合して5段階の評定を出します】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。・材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようとする。	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようとする。	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none">・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えしたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none">・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

3つの観点それぞれに

A（十分満足できる）、B（おおむね満足）、C（努力を要する）で評価します。

Aの評価は…Bに示した力をより発揮できたものがAになります。

Bの評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】

【図工や美術の技能を活用する応用力】

【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】

【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】

【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

【使用教材等】

- (1) 教材費より購入させていただくものの実習材料費（1500円程度）
- (2) 作品によっては、ご家庭から材料を持ってきていただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション	1年間の学習目標を理解する。 美術を学ぶ意義を理解する。
5	私自身を見つめて(2・3下 p 10) 「わたしの表現」	様々な自画像を鑑賞する。 自分自身を見つめ直し、自身の個性を生かす発想をする。
6		既習の様々な絵画表現を使い表現する。
7		3年間の思い出や内面的なものもじっくりと見つめて絵画表現する。 ・テーマに合ったモチーフ探し ・人体の表現
9	現代美術にザワザワザワッ！(2・3上 p 10) 「気になる美術見つけ！」	アートカード（絵はがき）をもとに話し合い活動をする。 班活動で鑑賞活動が深まるオリジナル鑑賞ゲームを企画する。多くの人が楽しめるような分かりやすい取扱説明書を作る。
10	B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	・鑑賞　　・色　形　材質　感情等の話し合い
11	思いを込めた卒業作品(2・3下 p 36) 「祈りを込めた私の形」	願いや祈りをもとに、発想を自分の未来や環境に広げ、自分の主張や考えを立体作品に表現する。
12	A表現(1)ア(ア)、イ(ウ) (2)ア(ア)、(イ)	・塑像　・構成　・接着方法
1	B鑑賞(1)ア(ア)、(イ)、イ (ア)、(イ)	自身の経験から魅力的な作品として仕上げる。
2	〔共通事項〕(1)ア、イ	
3	個紋を切絵にしよう A表現(1)イ(イ) B鑑賞(1)ア(イ) 〔共通事項〕(1)ア、イ	自分を象徴する形をデザインし、切絵にする。 自分自身を友だちにアピールする。 ・単純化 ・カッターの使い方 ・自分のアイディアをもとに色や素材などを検討する ・素材の組み合わせ

【保健体育って何?】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行つたらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく成長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習をします。

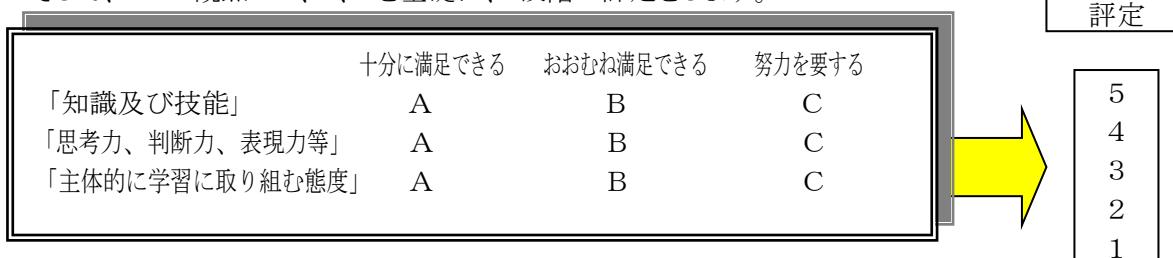
【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方を育ちます。
- ③ 選択制授業によって、生徒の能力、適性、興味、関心に応じて運動(種目)を選び、より高い課題に挑戦することができます。
- ④ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。



◎ 知識及び技能

知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◎ 思考力・判断力・表現力等

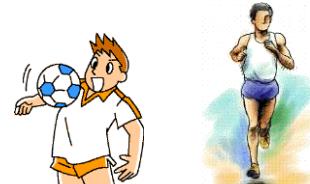
思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。

その後、紛失した場合は「各自購入」となります。



学期	学習すること	学習のポイント
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 <ul style="list-style-type: none"> ・授業時の約束事の確認 ・集団行動、準備運動の仕方など ◎体つくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高めるための運動 ◎新体力テスト ◎陸上競技・器械運動から選択 <ul style="list-style-type: none"> 〈陸上競技〉走り幅跳び、ハードル走 〈器械運動〉マット運動、跳び箱運動 ◎水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、リレー等 (各泳法における呼吸法、ストローク、キック法、スタート、ターン、記録など) ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 オ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。 ・授業時の服装、持ち物、見学等の約束、集団走、準備運動の仕方を理解する。 ・柔らかさや、巧みな動きを高める。 ・力強い動きを高める。 ・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。 ・ポイントや方法を知る。 ・助走、空中姿勢、着地の流れを学ぶ。 ・インターバルの走り方、空中姿勢を知る。 ・正しい計測や仕方のルールを知る。 ・回転系、倒立系、バランス系の技に挑戦する。連続技の発表をする。 ・自分のできる技・跳び方を発展させる。 ・クロールと平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの正しいフォーム、呼吸法を知る。練習方法を学ぶ。事故防止の心得や安全な行動に仕方を学ぶ。リレー形式でタイムに挑戦する。 ・感染症の予防(原因、発生源、感染経路、予防)
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 ◎体つくり運動 <ul style="list-style-type: none"> ・力強い動きを高める運動 ◎体育祭 ◎ダンス <ul style="list-style-type: none"> ・ロックソーラン ◎卓球・ソフトボールから選択 <ul style="list-style-type: none"> 〈卓球〉 〈ソフトボール〉 ◎陸上競技 <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 (走り方、呼吸法、ペースのつかみ方など) ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と病の予防 カ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。 ・個人またはペアで自分にあった運動を選び施設や用具を利用・工夫して取り組む。 ・仲間と積極的に関わり合い取り組む。 ・ロックソーランの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。 ・各種目の特性を理解し、基本練習、課題練習をおこないながらゲームができるようにする。ゲームを行い、自己の課題を見つけ、技能を高める。 ・リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走る。呼吸法を意識する。 ・個人の健康を守る社会の取組(保健、医療機関、医薬品の正しい使用)
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育理論 ◎武道・ハンドボールから選択 <ul style="list-style-type: none"> 〈柔道〉 〈ハンドボール〉 ◎サッカー・バスケットボールから選択 <ul style="list-style-type: none"> 〈サッカー〉 〈バスケットボール〉 (個人、集団技能、ゲーム) ◎保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康と環境 ア、イ、ウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。 ・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。 ・相手を尊重する態度を育てる。 ・対人での基本技をもとに、簡易試合を行う。 ・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力にあわせて練習し、チームとして作戦を立ててゲームをおこなう。 ・リーグ戦を行い、チームの課題を把握し、次の練習内容を考える。 ・身体の環境に対する適応能力・至適範囲 ・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理

技術・家庭科（技術分野）シラバス

3学年

□技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、加工、エネルギー、生物、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

3年生では、情報に関する技術の学習として双方向性のあるコンテンツのプログラミングとプログラミングによる計測・制御を行います。双方向性のあるコンテンツのプログラミングではプログラムの基本的な手順についての学習を行います。プログラミングによる計測・制御ではセンサやコンピュータを利用して、身の回りに活用されている自動制御などについて学習します。これらの活動を通して、現代日本産業において、欠かせない組込み技術についての理解と考えを深め、プログラミング的思考を身に付けます。

□技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「情報に関する技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していくべきかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

□評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとに5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5 4 3 2 1
思考・判断・表現	A	B	C	→
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

【学習の予定】

3年生の技術分野の授業は4月から始まります。家庭分野と隔週で実施していきます。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
4		
5		
6	双方向性のあるコンテンツの設計と制作をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル作品の設計と制作 <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中のメディア ・デジタル作品の構想 ・プログラミング言語の基本 ・情報の収集と加工 ・作品の制作 ・作品の発表と評価
7		
8		
9		<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中にある計測・制御
10		<ul style="list-style-type: none"> ○計測・制御のしくみ
11	プログラムを使って、機器を計測・制御しよう	<ul style="list-style-type: none"> ○フローチャート・アクティビティ図について <ul style="list-style-type: none"> ・身近な機器のしくみ
12		<ul style="list-style-type: none"> ○情報処理の手順とプログラム
1		<ul style="list-style-type: none"> ○計測・制御の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・順次 ・繰り返し、分岐
2		<ul style="list-style-type: none"> ○プログラムの設計と制作
		<ul style="list-style-type: none"> ○情報に関する技術の評価・活用
		<ul style="list-style-type: none"> ○3年間の学習の振り返り

◎ 1学期の期末テスト、2学期の期末テストのときに定期テストを実施します。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス 3学年

□技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

3年生では、家族・家庭と子どもの成長について学習します。主に、幼児の体の成長や身体的機能・生理的機能の発達、基本的生活習慣の獲得、幼児の遊びと成長とのかかわりについて学びます。幼児の遊びの意義について考え、被服製作では幼児のおもちゃの制作を行います。また、自分の成長と生活を振り返り、人とのかかわりと成長についても考えます。

また、「幼児のおやつ作り」として調理実習も予定しています。

□家庭分野の学習で身に付く力は…

家族や地域の人との関わり・保育・環境に配慮した消費生活などについて自分の生活を見つめ直し、課題を見つけ、より良い生活のための工夫を考えることができます。また、3年間学んだ事を生かして、義務教育を終えた後の自立に向けての知識と技術を取得することができます。

□評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の3つの観点（通知票に記載）を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に、5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定	
				5	4
知識・技能	A	B	C	→	3
思考・判断・表現	A	B	C	2	1
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C		

観点	観点の作成	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだしして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

□学習の予定

3年生の家庭科の授業は4月から翌年の3月まで、一年間通して学習を進めます。1・2学年時とは異なり、技術分野と家庭分野を隔週で実施します。また、毎学期末に定期テストを行います。

以下が、学習の流れの目安です。

4月	家庭科のオリエンテーション 幼児の成長、身体的・生理的機能について	10月 幼児の食生活と栄養 11月 幼児の成長と家族・地域
5月	基本的生活習慣、幼児の生活と遊び	12月 調理実習
6月	幼児のおもちゃ制作	1月 高齢者とのかかわり
7月	幼児のおもちゃ制作	2月 中学生にとっての家族
9月	幼児の観察、疑似体験	

□使用教材等

調理実習材料費がかかります。

被服実習材料費がかかります。



外国語科シラバス第3学年

<なぜ英語を勉強するの?>

グローバル時代の今、全世界で英語を話す人は約20億人います（母国語だけでなく、第2言語として使っている人を含める）。こうした事実からもわかるように国際社会で最も使用されている言葉は英語です。今や国を代表する人や企業のリーダーも、スポーツ選手も、世界で活躍している人の多くが英語を使っていますね。海外旅行や海外出張もめずらしくない時代になっています。訪日外国人の数も年々増加し、今後私たちに求められることはそうした方々と手を取り合って共生（互いを尊重し、共に生きる）の態度だといえます。そこで大切なことは、「日本人だから日本語だけできれば良い」という考えではなく、自分の思いや考えを「外国語（英語）」でも積極的に伝えていく態度です。積極的に自分の考えを発信していきましょう。

<評価規準について>

	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。		
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。		
話すこと（やりとり）	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。		
話すこと（発表）	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。		
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようとする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。		

<家庭学習ではどんなことをするの?>

☆予習（授業の前日）：次の日に学習する本文と単語の意味を調べノートに書く。

☆復習（授業の当日）：その日に学習した単語や基本文を声に出して書いて覚える。

☆その他：授業で指示が出ることもあります。

第3学年の目標

第1、2学年の学習を基礎として、積極的に英語に親しみ、自分の考えや意見を伝えあえるようにする。

<英語の評価>

表の4つの観点から、A:十分に満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する、の3段階で評価します。このA、B、Cをもとに5段階の評定が行われます。

	聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	・定期テスト	・音読テスト ・定期テスト	・ALTとの会話	・スピーチ活動	・定期テスト ・小テスト
思考・判断・表現	・定期テスト ・ALTとの会話	・音読テスト ・定期テスト	・スキット ・ALTとの会話	・スピーチ活動	・英作文 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・会話テスト ・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・授業中の音読	・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・スピーチ活動 ・ワークシート ・授業中の拳手発言	・ノート・ワーク ・ワークシート ・自己評価

<学習計画>

学期	月	題材	文型・文法	目標
I 学期	4	<u>Program 1 Bentos Are Interesting!</u>	ask ~ to ... It is ~ (for + 人) to 現在完了形 (経験)	「人が…するのは～だ」などを表現することができる。日本や海外の弁当文化について話すことができる。 自分の大事なものなどについて意欲的に表現することができる。
	5	<u>Program 2 Good Night. Sleep Tight.</u> <u>Step 1 聞き上手になろう</u>	現在完了形(完了) 現在完了形(継続) 現在完了進行形	「ちょうど…したところだ」「ずっと～している」などを表現することができる。睡眠の大切さについて話すことができる。
	6	<u>Program 3 A Hot Sport Today</u> <u>Power-Up 1 電車の乗りかえ案内をしよう</u> <u>Step 2 ポスターセッションの流れを理解しよう</u> <u>Our Project 7 パラスポーツについて知ろう</u>	〈動詞 (tell など) +人+that ~〉 〈動詞 (call など) +目的語+補語〉 〈動詞 (make など) +目的語+動詞の原形〉	人や物の呼び方などを表現することができる。 気持ちを動かすものなどについて、意欲的に表現することができる。 記者会見の目的に沿って、わかりやすいスピーチ、質疑応答やアドバイスができる。
	6	<u>Reading 1 Meaning of Life</u>	Reading Activity(長文読解)	長文読解ができる。
	7	<u>Step 3 ディスカッションの流れを確認しよう</u>		
	9	<u>Program 4 Sign Languages, Not Just Gestures!</u>	分詞の後置修飾 間接疑問文	「～している人」「～されているもの」などを表現できる。手話について話すことができる。
	10	<u>Program 5 The Story of Chocolate</u> <u>Power-Up 2 ポスターから情報を読み取ろう</u>	関係代名詞(主格) who / which / that ・The man who has just run away. ・A member of the cat family which lives in Africa and Asia. ・It's a movie that has touched many people.	人やものをくわしく説明して表現することができる。

11	<p><u>Step 4</u> <u>ディスカッションで使う表現をおさえよう</u></p> <p><u>Program 6 The Great Pacific Garbage Patch</u></p> <p><u>Our Project 8</u> <u>レストランに SDGs の取り組みを提案しよう</u></p>	<p>look, see, watch / hear, listen</p> <p>関係代名詞(目的格) which / that / 省略</p> <ul style="list-style-type: none"> • Here is a plan which my father made for you. • They are the cherry trees that Japan gave to Washington, D.C. in 1912. • The museum I like the best is near here. 	<p>人やものをくわしく説明して表現することができる。</p> <p>日本のものを詳しく紹介する活動などに意欲的に取り組むことができる。</p>
	<p><u>Power-Up 3</u> <u>ラジオの CM を聞こう</u></p> <p><u>PROGRAM 7</u> <u>Robots Can Improve Quality of Life</u></p> <p><u>Power-Up 4</u> <u>ウェブサイトで学校を紹介しよう</u></p>	<p>仮定法過去 / I wish+主語+仮定法過去</p> <ul style="list-style-type: none"> • If I were you, I would ask someone to help. • If I had some money, I would buy some cakes. • I wish I had a camera with me. <p>Reading Activity (長文読解)</p>	<p>現在の事実と違うことを仮定して表現することができる。</p> <p>AI(人口知能)の現状と可能性について話すことができる。</p> <p>自分の考えや希望について、意欲的に表現することができる。</p>
3 学 期	<p><u>Reading 2 Malala's Voice for the Future</u></p> <p><u>Special Program 中学校の思い出を残そう</u></p>	<p>Reading Activity (長文読解)</p>	<p>長文読解ができる。</p> <p>中学3年間の思い出を英語でまとめ残すことができる。</p>
	<p>2 1~3 年生の復習</p>	<p>問題演習</p>	<p>これまで学んだ学習内容を踏まえながら、問題を解くことができる。</p>

「特別の教科道徳」 シラバス

月	回数	教材名		
		1年	2年	3年
4	1	挨拶しますか、しませんか	鳥のように空をとびたい 高梨沙羅	〇〇流デジタルライフ
	2	あなたに	ごみ収集場所をどこに	思い出のオムライス
5	3	掃除の神様が教えてくれたこと	ソムチャイ君の笑顔	百年たっても
	4	うわさで決めるの？	コスモスR計画	余命ゼロ 命のメッセージ
	5	釣りざおの思い出	ヨコスカネイビーパーカー	アップロード ダウンロード
	6	黒い弁当	僕の職場体験活動「彩の国の道徳」	赤道直下にすむマウンテンゴリラ
6	7	バスと赤ちゃん	蹴り続けたボール	町工場から宇宙へ
	8	裏庭での出来事	ジャッジとチャレンジ	世界一厄介な問題
	9	壊れた掲示板	父との約束	二人の弟子
	10	仮入部「彩の国の道徳」	青のオーケストラ	私たちの夏
7	11	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	初めてのアルバイト	笛
	12	真の国際人 嘉納治五郎	三人の誓い 大山捨松	ねぶたを夢見て
8	13	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	忘れていたこと「彩の国の道徳」	独りを慎む
	14	ネット将棋	キヤッチボール	一冊のノート
	15	オーストリアのマス川	ブラックジャック ふたりの黒い医者	電車の中で
	16	トキのいる里をもう一度	サキとタク	もっとわかり合いたい
9	17	日曜日の朝に	ヒト・IPS 細胞を求めて 山中伸弥	境界線を越える
	18	金色の稲穂	言葉の向こうに	領民を愛した名君 上杉鷹山
	19	町内会デビュー	共に未来を	二通の手紙
	20	ふと目の前に 森繁久彌	リンゴが教えてくれたこと	忘れられないご馳走
10	21	ネパールのビール	足袋の季節	未来の日本ヘデビュー
	22	エルトゥールル号の遭難	ものづくり	どうして？
	23	公平とはなんだろう	星置の滝	ルリボシカミキリの青
	24	自然の懐に抱かれて	厳かなるもの	二人はライバル
11	25	伝統を伝説に	黒蜘蛛の元次	卒業文集最後の二行
	26	クラスメイト	償い	白川郷に魅せられて
	27	日本の心と技	金閣再建 黄金天井に挑む	正確な日本地図の追究 伊能忠敬
	28	イチローの軌跡	五色桜	礼儀って
	29	私たちの初詣「彩の国の道徳」	お通夜のこと	優介の決意
	30	認められたグラブ	心のパス交換「彩の国の道徳」	雪が降ると思い出すことがある
12	31	吾一と京造	未来に輝け復興和太鼓	五井先生と太郎
	32	傘の下	私は大丈夫そんなきもちはないですか	スポーツの力
	33	ゲームから広がる可能性	美しい母の顔	「血の通った義足」を作りたい
	34	捨て犬・未来	そこにいるだけでいい	杉原千畝の選択
	35	何だっていいんだあ「彩の国の道徳」	帰郷	亡き母へのトランペット

○4月最初の授業で道徳オリエンテーションを行います。

※評価については、各学期通知表に掲載します。